


安全データシート (SDS)

改訂：2022年12月1日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	
商品名	木守り専科 FIRE Protect 防災強化下塗り剤FPベース
製品説明	種類：浸透性木部保護水性塗料 用途：内装・外装共用木部
会社情報	
会社名	株式会社 シオン
住所	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目8-1
電話番号	019-677-7060
F A X	019-637-3190
E-mail	info@xion.co.jp
担当者	製造開発室 藤田 悠

2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない：不燃性液体
(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない／データなし	
GHSラベル要素	
GHSラベル要素	 H303 多量に摂取すると腹痛、嘔吐、下痢等を起こすおそれ
注意喚起	
予防	P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
対応	P370 火災時には一般的な注水処理を行う。
保管	P233 容器を密閉しておくこと。 P235 涼しく風通しのよいところに保管する。
廃棄	P501 産廃物の処理、清掃に関する法律及び関係する法律に従って処分する。

3. 組成及び成分情報	
化学的特性	
物質または混合物の区別	混合物
全成分	水、ホウ酸系粉末
本品には以下の18物質は含まれておりません。 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジ・n・ブチル、スチレン、クロルピリホス、ノナール、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ・2・エチル、ヘキシル、ダイアジノン、ヘノブカルブ、フタル酸エステル、リン酸エステル、有機リン	
ホルムアルデヒド放散等級区分：告示対象外	
官報公示整理番号・CAS番号・国連分類及び国連番号・PRTR法・化審法番号・労安法通知物質：該当なし	
4. 応急措置	
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ安静を保つ。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使いよく落とす。外観に変化が見られたり、痛みが発生した場合は、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	清潔な水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよくいきわたるように洗眼する。症状が改善されない場合は、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水又は食塩水でよく口の中を洗浄する。異物感が残ったり、具合が悪くなった場合は、医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水で消化することが可能。消火剤等を使用する必要はない。
消化方法	一般的な注水処理を行う。
消化を行う者の保護	消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	なし
環境に対する注意事項	河川や下水に排出しないように注意する。
少量流出時	紙、布(ウェス)等に吸収させて回収する。
多量流出時	バケツ、ヒシヤク等で汲み取り、容器等に移した後に、多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い上の注意事項	
取扱者のばく露防止策	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。作業衣に付着した場合は、その汚れを落とす。取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。
火災、爆発の防止等の適切な技術的対策	取扱い場所は、換気を十分に行う。 取扱い時は、飲食をしない。
保管上の注意事項	
混合接触させてはならない化学物質	なし
保管条件	容器はしっかりと密閉して、換気良好な冷暗所に保管する。 0℃以下になると凍結する恐れがあるため、冬場凍結の恐れがあるところでは保管しないこと。
8. ばく露防止及び保護装置	
ばく露防止	
管理濃度	設定されていない
許容濃度	設定されていない
設備対策	不要
適切な保護装置・保護具	
眼と顔の保護	保護眼鏡等を着用し、眼に塗料が入らないように注意する。
皮膚の保護	保護手袋、保護衣を着用し、皮膚に塗料が付着しないようにする。
呼吸の保護	換気が十分でないときは、呼吸用保護具を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的性質	
外観	形状：常温で液体 色：無色透明
臭い	なし
物理的形態変化	沸点：103℃ 融点・凝固点：データなし
引火点	該当なし
自然発火点	該当なし
発火性	該当なし
蒸発速度	水とほぼ同じ
爆発特性	該当なし
酸化特性	該当なし
n-オクタノール/水分配係数	Log Pow = -1.28 (20℃)
比重(相対密度)	1.10 ± 0.10 (20℃)
分解温度	該当なし
粘度	4.5mPa・s (20℃)

10. 安定性及び反応性	
避けるべき条件	なし
安定性・反応性	通常の状態安定している。 不燃性であり、危険性はない。
危険な反応	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない
11. 有害性情報 ※1	
急性毒性	経口：急性経口毒性なし（ラット） 経皮：急性経皮毒性なし（ラット） 吸入：急性吸入毒性なし（ラット）
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性なし
眼刺激性	刺激性なし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	陰性
発がん性	国際的機関で発がん性と評価された事例はない
生殖毒性	生殖毒性なし
特定標的臓器毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
12. 環境影響情報	
生体毒性	製品としての情報なし
残留性・分解性	製品としての情報なし
生体蓄積性	製品としての情報なし
土壌中の移動性	製品としての情報なし
水性環境有害性	水質汚濁防止法の有害物質(水質汚濁防止法2条第二項第一号)に含まれる。 一律排水基準の健康項目で有害物質に含まれる・排水許容制度 海水以外：10mg/L 海域：230mg/L
水性環境-急性有害性	製品としての情報なし
オゾン層有害性	製品としての情報なし
13. 廃棄上の注意	
廃棄方法	関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
注意事項	家庭ごみとは一緒に処分しないこと。 下水には流さないこと。

14. 運送状の注意	
陸上運送	消防法、労働安全衛生法等、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上運送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
運送の特定の安全対策及び条件	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしないこと。(内容物漏洩防止) ・ その他、法令に定めるところに従う。 ・ 国連分類・国連番号(UN)・容器等級：該当なし
15. 適用法令	
労働安全衛生法	施工例第18条の2 名称を通知すべき有害物(政令第544号)
化学物質管理促進法	第1種指定化学物質(政令第405号)
化学物質審査規制法	1-69(四ホウ酸に準ずる)
その他の法令	建築基準法改正の規制を受けない。
16. その他の情報	
参考資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全データシート作成資料 JIS Z 7253:2019 2. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂6版 3. 原材料の安全データシート(各原材料メーカー参照)
備考	<p>※1 人についての症例、疫学的情報を含む。</p> <p>記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しており、情報の正確さや安全性を保証するものではありません。</p> <p>取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において安全にご使用ください。</p> <p>本資料の記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。</p>